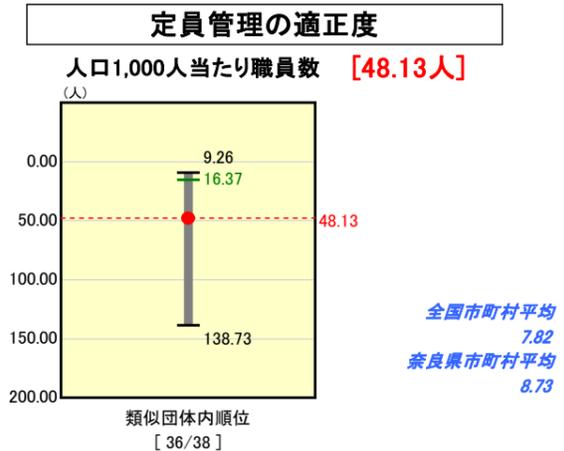
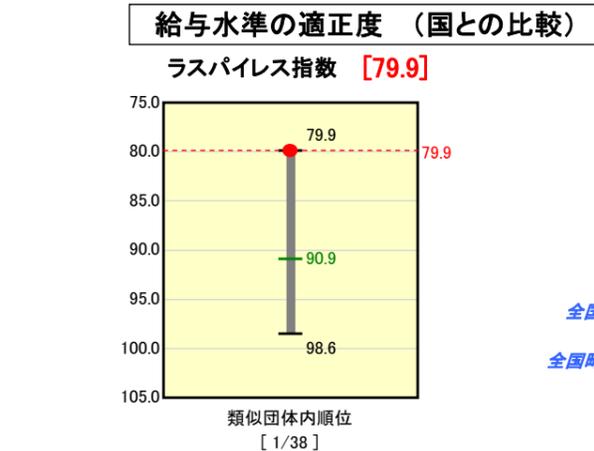
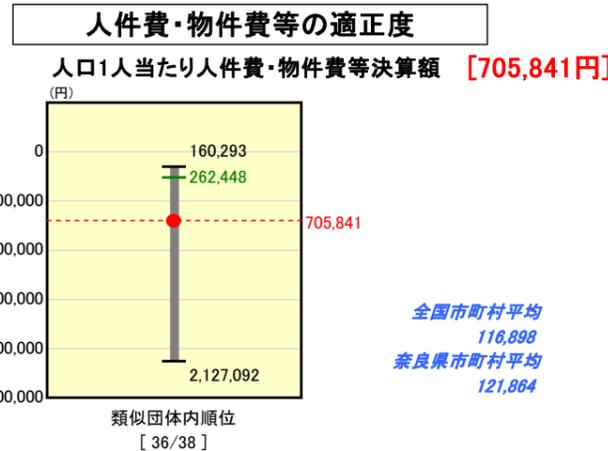
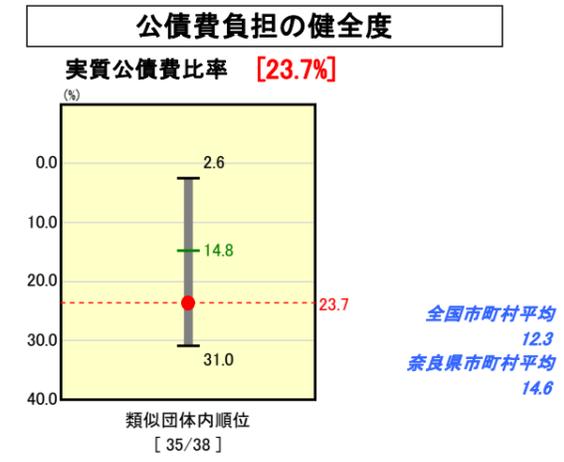
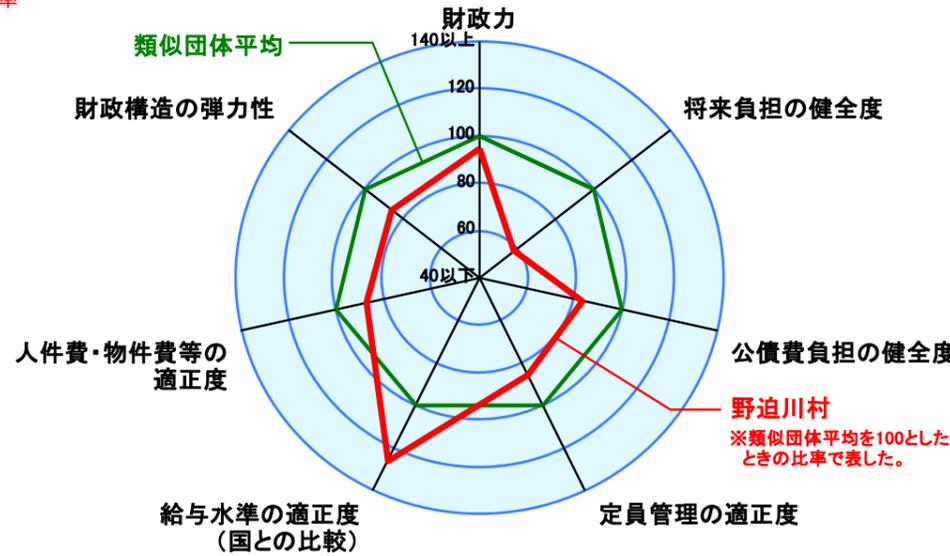
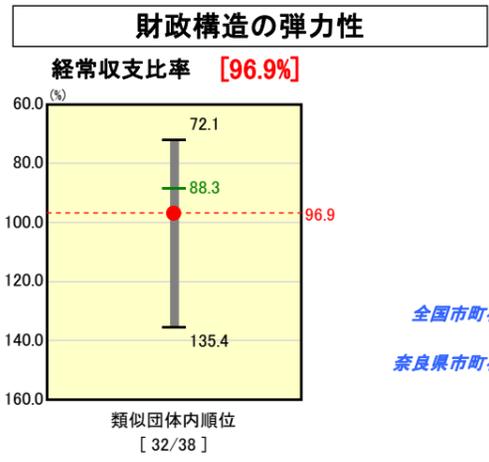
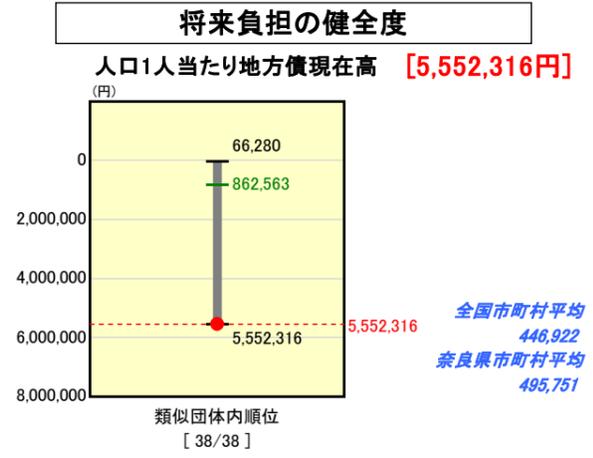
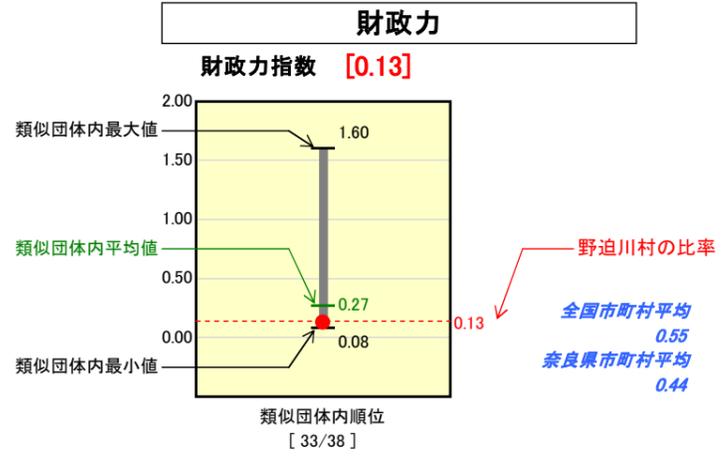


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 奈良県 野迫川村

人口	561人(H20.3.31現在)
面積	155.03 km <sup>2</sup>
歳入総額	1,612,881千円
歳出総額	1,566,490千円
実質収支	46,391千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

### 分析欄

- ・財政力指数  
人口減少や全国平均を上回る高齢化比率に加え、村内に中心となる産業がないこと等により、財政基盤が弱く、類似団体平均をかなり下回っている。
- ・経常収支比率  
人件費の削減など財政改革への取組みを通じて義務的経費の削減に努め、現在の水準を維持している。
- ・実質公債費比率  
実質公債費比率の見通しとして、平成20年度をピークとし、償還額が減少していく見込み、またそれに伴って比率も改善していく。
- ・ラスパイレス指数  
給与水準は、全国でも低くそのことが、経常収支比率のうち人件費の部分では良くなっている。
- ・人口1人当たり地方債現在高  
当村の人口561人と少なく、人口1人当たりになると高くなるが、地方債の中では過疎債・辺地債が多いので交付税措置も多い。